

平成17年度 「ひと、輝くまち 倉敷。」市民企画提案事業 事業実績報告書

事業名	景観シミュレーションを活用した合意形成手法の検討事業 ～八間川を事例にした対話による計画づくり～		
団体名	(財)水島地域環境再生財団	市担当部署	公園緑地課
事業費	1,925,500円	市の負担額	1,000,000円

事業の目的・概要	<p><b>【目的】</b>八間川を周辺環境も含め、魅力ある、自然とのふれあいの場として位置づけ、整理する必要がある。そのために、イメージのわかりやすい景観シミュレーションを作成して地域住民に提案することで、発言の機会を促し、対話による計画づくりに寄与することを目的とする。</p>
	<p><b>【概要】</b>倉敷市水島地区を流れる八間川は、「くらしき花と緑のシンフォニー計画」(平成8年、倉敷市)では緑道公園として整備する計画が策定されたが、合意形成がとれず進んでいない。現状は、両岸に植樹されている柳が寿命等の問題から枯れ始め、安全面からも植え替えが緊急課題である。そこで、様々な意見を調整し、対話による計画づくりを行うため、景観シミュレーションを作成し、地域住民に提案する事業を実施した。</p>

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観シミュレーション作成：2005年12月1日～2006年2月1日作成委託</li> <li>・連合町内会長、水島公民館支館長、おかみさん会等への説明：2005年11月21日(事前説明)、12月29日(事前説明)、2006年1月12日(事前説明)、2月14日、2月16日、3月8日、3月22日</li> <li>・行政との八間川懇談会：2006年1月23日(公園緑地課、環境保全課、下水施設課、耕地水路課、水島支所)</li> <li>・八間川調査隊への説明「八間川を語る会」：2006年3月26日</li> <li>・倉敷市公害患者と患者の会への説明「八間川を語る会」：2006年3月29日</li> <li>・水島公民館支館協議会での説明「八間川を語る会」：2006年4月8日</li> <li>・対話による計画づくりの検証作成</li> </ul>
------	---

事業成果・課題	<p>当初、頻繁に開催することを予定していた「八間川を語る会」が計画通りに進まなかった。シミュレーションが完成してから日程設定の期間が短かったこと、年度末に事業が集中してしまったことが原因である。</p> <p>しかし、少数ではあったものの、町内会長、おかみさん会を始め地域で熱心に活動している住民のかたとお話し、懇談する機会が得られた。公害患者会のみなさんからは、八間川がきれいだった昔の状況を聞くことができた。八間川調査隊に参加している市民からは、生物学の視点で専門的なアドバイスをいただくことができた。このような機会を得られたことは有意義であった。出された意見を整理し残しておくことは今後、計画を作る上で貴重な資料となりうる。</p> <p>本来、時間のかかる手法である対話による計画づくりを、短時間で実験的に開催した。その結果については検証できたので、今後の事業に活用できると考えられる。</p>
---------	--

今後の展望	<p>今年度事業で得られた意見をアンケート調査等の設問項目として利用して作成すれば、より広い地域の様々な住民に意見を聞くことができる。また検証結果を「くらしき花と緑の基本計画(シンフォニー計画)の見直しに活用いただきたい。</p>
-------	---

## 提 案 団 体 自 己 評 価 書

事業名	景観シミュレーションを活用した合意形成手法の検討事業 ～八間川を事例にした対話による計画づくり～
団体名	(財)水島地域環境再生財団
1 実施計画書のとおり実施できた	<p>1 できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2 概ねできた</p> <p>3 あまりできなかった</p> <p>4 ほとんどできなかった</p>
2 1の回答で3、4と答えた場合のみ記入	主な理由
3 事業予算書と実績との比較	<p>1 ほとんど同じ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2 多少の変更があった</p> <p>3 大幅に変更している</p>
4 3の回答で2、3と答えた場合のみ記入	<p>主な理由</p> <p>当初考えていたよりも、現状把握調査や資料作成等の作業量がかさみ、補助アルバイトの人件費がかかった。反対に頻繁に開催することを予定していた「八間川を語る会」が計画通りに進まず、予算計上したテーブルおこし、会場費の金額に変更があった。</p>
5 事業の実施によって期待した効果をおげることができた	<p>1 期待どおりであった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2 概ねあった</p> <p>3 あまりなかった</p> <p>4 ほとんどなかった</p>
6 5の回答で、3、4と答えた場合のみ記入	主な理由
7 市と協働することで期待した効果を得ることができた	<p>1 期待どおりであった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2 概ねあった</p> <p>3 あまりなかった</p> <p>4 ほとんどなかった</p>
8 7の回答で3、4と答えた場合のみ記入	主な理由
9 その他、評価すべき点(事業を通じて気づいた点など)	<p>事業確定、協定書締結に時間がかかり、本格的な内容を進める段取りを準備し、実行する時間が少なかった。しかし今回の事業で得られた検証は、今後の「花と緑のシンフォニー計画」の見直しの際に参考にして頂ける内容が作成できた。また、事業を通じて知り合ったまちづくりに関わる住民の方とのつながりが得られたことは大変有意義だった。</p>

市民企画提案事業について意見・要望など

審査上での「公益性」概念の統一、「協働」の意味・方法をわかり易く示し、市民、行政、審査員等の中で共通認識にする努力を倉敷市には示してほしい。

## 市 自 己 評 価 書

<b>事業名</b>	景観シミュレーションを活用した合意形成手法の検討事業 ～八間川を事例にした対話による計画づくり～
<b>市担当部署</b>	公園緑地課
<b>1 実施計画書のとおり実施できた</b>	1 できた <input checked="" type="checkbox"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
<b>2 1の回答で3、4と答えた場合のみ記入</b>	主な理由
<b>3 事業の実施によって期待した効果をあげることができた</b>	1 期待どおりであった <input checked="" type="checkbox"/> 2 概ねあった 3 あまりなかった 4 ほとんどなかった
<b>4 3の回答で、3、4と答えた場合のみ記入</b>	主な理由
<b>5 提案団体と協働で事業実施することの効果はあったか</b>	1 非常にあった 2 あった <input checked="" type="checkbox"/> 3 あまりなかった 4 ほとんどなかった
<b>6 5の回答の主な理由</b>	提案団体との調整が予定より少なく、状況があまり把握できていなかった。
<b>7 その他、評価すべき点（事業を通じて気づいた点など）</b>	市と提案団体の協議・調整が少なく、事業の進捗状況がまったく把握できない時期が何ヶ月もあった。 また、今回の事業での成果が今後の事業でどう活用していくのか今一つ明確にならなかった。
<b>市民企画提案事業について意見・要望など</b>	今回の事業では、市民の方と懇談の機会が少なく、市民企画提案事業としての意味があったのか多少の疑問が残った。